

# 1 単元名 開国と近代日本の歩み

「日清・日露戦争と近代産業」(全7時間)

## 2 単元のねらい

急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上のあらましを、日清・日露戦争、条約改正を通して理解できる。  
政府の富国強兵・殖産興業政策の下で発展した我が国の近代産業が産業革命を経て発展したことと、その中での国民生活の変化について理解することができる。

## 3 単元で培いたい学び方

身近な地域に存在した製糸工場の学習と関わらせて、日本の産業革命が全国に広がっていったことに気づくことができる学び方。

## 4 内容のまとめりごとの評価規準 歴史的分野の内容(5)イ ウ エ

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに対する関心を高め、意欲的に追求し、国際協調の精神を養い、国民としての自覚を持とうとする。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程やきっかけをまとめたり、説明したりしている。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きを理解し、その知識を身に付けている。

## 5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上のあらましに対する関心を高め、意欲的に追求している。 我が国の近代産業の発展とその中での国民生活の変化に対する関心を高め、意欲的に追求している。	日清・日露戦争、条約改正を通して、我が国の国際的地位の向上のあらましを多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 我が国の近代産業の発展とその中での国民生活の変化を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上のあらましおよび、我が国の近代産業の発展とその中での国民生活の変化に関する文献、映像、統計、グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上のあらましを、当時の国際情勢を背景に理解し、その知識を身に付けている。 我が国の近代産業の発展とその中での国民生活の変化を理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	日清・日露戦争、条約改正を通して、日本がどのように国際的地位の向上に努めてきたかに関心をもち、追求しようとする産業革命によって人々の生活がどのように変わったか関心をもち、意欲的に知ろうとしている。	課題についての考えを仲間と交流し、深めている。 課題について、日本の国際的地位の向上が多くの人々の努力で達成されたことを考察している。 課題について、政府の人々の立場と労働者の立場から考察している。 身近な地域の歴史について知識や資料を生かしながら、産業革命の広がりを考えようとしている。	日本の国際的地位の向上がどのような経緯で進んでいったのかについて、資料を収集・選択し、まとめている。 日本の産業革命が貧しい農村の人々や女工によって支えられていることを読みとっている。 課題についての自分の考えを、様々な資料を活用して、まとめている。	日本の国際的地位向上の経緯について理解している。 身近な地域の製糸工場の学習を通して、産業革命が日本全国に広まったことを理解している。